

令和7年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名:大阪府立農業公園

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
<p>I 提案の履行状況に関する項目</p> <p>第3 利用者の増加を図るための具体的手法、効果</p> <p>第4 サービスの向上を図るための具体的手法・効果</p>	<p>2. (2)自然と触れ合い及び憩う場を府民に提供する業務</p>	<p>バーベキューサイトの運営について、他施設との差別化等により稼働率の向上を求める。</p> <p>また、休日と平日を同じ目標稼働率としていることから、平日を下げるなど、目標稼働率の見直しを求める。</p>	<p>施設の特徴を活かしたコンテンツの提供やイベント開催などにより、他施設との差別化を図り、バーベキューサイトの稼働率向上を図る。</p> <p>また、平日の稼働率の実態を鑑み、目標稼働率の見直しを進める。</p>	<p>施設の特徴を活かしたコンテンツの提供やイベント開催など、バーベキューサイトの運営について、他施設と差別化を図るよう事業計画書に反映させる。</p>
<p>I 提案の履行状況に関する項目</p> <p>第6 府施策との整合</p>	<p>(3) 知的障がい者等の現場就業及び職場定着支援の実施状況</p>	<p>障がい者等の現場就業及び職場定着に向けて、障がい特性に合った作業が可能となるよう、農作業の細分化と作業の切り出しによる作業内容の充実を求める。</p>	<p>いちごなど農作業の細分化と作業の切り出しが容易な品目の規模拡大を図る。</p>	<p>いちごなど農作業の細分化と作業の切り出しが容易な品目の規模拡大について、事業計画書に反映させる。</p>
<p>Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項</p> <p>第1 収支計画の内容、的確性及び実現の程度</p>	<p>(1) 事業収支の計画に対する妥当性</p>	<p>事業計画どおりの事業収支となっていないことから、施設の強みを活かした新たなコンテンツの提供など、収支改善に繋がる取組の実施を求める。</p>	<p>収支改善に向けて、収穫体験の品目や規模の拡大、園内収穫物や地元特産品を用いた料理の提供など、施設の強みを活かした農や食、農村文化等を四季折々体感できる新たなコンテンツ開発の検討を進める。</p>	<p>収穫体験の品目や規模の拡大、園内収穫物や地元特産品を用いた料理の提供など、施設の強みを活かした農や食、農村文化等を四季折々体感できる新たなコンテンツ開発について、事業計画書に反映させる。</p>